

実証会開催のご案内

林業植栽機械化のためのみちびき（QZSS）自動走行実証事業

「苗木を植える穴を、衛星測位で自動穿孔する」——林業造林 ICT のご提案です。

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

合同会社ビスペルは、内閣府宇宙開発戦略推進事務局と準天頂衛星システムサービス株式会社が主催する「みちびき（QZSS）を利用した実証事業」の採択を受け、林業の造林作業における植栽機械化・自動化を目的とした実証に取り組んでまいりました。

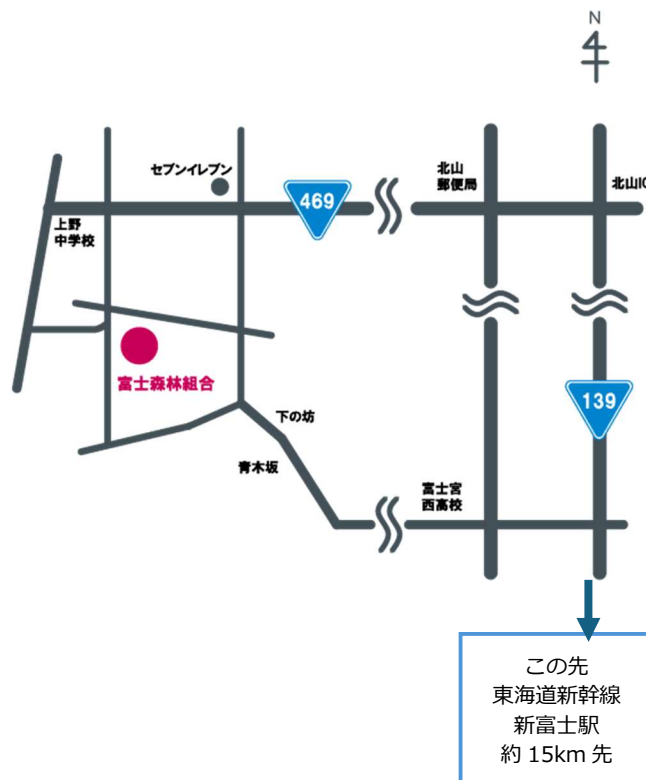
このたび、約9か月にわたる開発期間を経て、準天頂衛星システム「みちびき」のCLAS（センチメートル級測位補強サービス）を利用したウェイポイント自動走行・穿孔システムの試作機が完成しました。つきましては、本システムの実機を用いたデモンストレーションを下記のとおり開催いたします。

労働力不足と高齢化が深刻な林業造林現場への新提案として、ご関心をお持ちの関係各位のご来場を心よりお待ちしております。

敬具

■ 開催概要

日時	2026年4月16日（木） 小雨決行／荒天延期 13:30～15:30（受付開始 13:00）
会場	富士森林組合 敷地内空き地
住所	静岡県富士宮市下条 1073 番地の1
主催	合同会社ビスペル 植栽自動化コンソーシアム
参加費	無料（事前申込不要・当日参加可）
対象	林業事業者・森林組合・行政担当者・ 研究機関・メディア 関係者ほか



■ 当日プログラム

時刻	内容
12:45～	受付開始
13:00～	【第1部】全粉碎地拵えからはじまる造林機械化、ICT利活用の新しい施業の提案
14:00～	【第2部】屋外デモンストレーション 自動走行・自動穿孔・追従植付の実機実演
～15:30	質疑応答・ディスカッション、閉会

自動走行	自動穿孔	追従植付
みちびきのCLAS測位による ウェイポイント自動走行	指定ピッチでの穿孔・座標記録・ サーバー送信	穿孔穴へ苗木植付 覆土・鎮圧

【デモンストレーション実演の内容】

- コントローラーで自動穿孔走行を開始。車両はウェイポイントを順次通過しながら「停止→穿孔→座標記録→サーバー送信」のサイクルを繰り返します。
- 作業員が車両に追従し、穿孔穴へ苗木を植付・覆土・鎮圧します。
- 走行軌跡・穿孔位置がリアルタイムでWebブラウザ上に可視化されます。

■ 本技術の背景と意義

林業の造林領域（伐採後に植林して木を育てる工程）は、機械化・自動化が最も遅れている分野の一つです。切り株や残材など植林前の障害物が機械走行を妨げたことが原因で機械化の開発は遅れています。新施業では「全粉碎地ごしらえ」という新施業でフラットな皆伐地を実現し、下流工程の機械化を導入しやすくしています。本実証では、みちびきのCLASによるセンチメートル級測位を利用し、補助金仕様（1ha2,000本植え）を満たしつつ機械走行に必要な作業路（縦2.5m×横2m）を確保した自動穿孔走行を実現しました。

■ お問い合わせ

主催・問い合わせ	合同会社ビスペル 〒416-0939 静岡県富士市川成島 658-1 E-mail : info@vispell.com URL : https://vispell.com
----------	---

※ 当日は屋外での実演となります。動きやすい服装・靴でのご参加をお勧めします。天候等により内容が変更となる場合は、事前に合同会社ビスペル Web サイトにてご連絡いたします。

本事業は内閣府宇宙開発戦略推進事務局と準天頂衛星システムサービス株式会社が主催する「みちびき（QZSS）を利用した実証事業」の採択を受けて実施しています。

植栽自動化コンソーシアム：合同会社ビスペル／東京電機大学（岩瀬研究室）／福島県ハイテクプラザ／株式会社東日本計算センター